

(報告) 19年度ユーザー理解活動

2020年6月8日

公益財団法人自動車リサイクル促進センター

《目次》

1. 2019年度ユーザー理解活動の計画	・・・	P2
2. 情報の質を高める取組み	・・・	P3
3. インターネットメディアでの露出を高める取組み	・・・	P8
4. 全国環境イベントでの取組み	・・・	P10
5. 新聞折込チラシを利用した取組み	・・・	P14
6. P R 動画を使った関心を得る取組み	・・・	P16
7. 小学生とその保護者を対象とした取組み	・・・	P18
8. クルマのリサイクル作品コンクールを開催	・・・	P20
9. 子どもメッセージカー返還式を開催	・・・	P24
10. 科学技術館に常設展示ブースを制作	・・・	P25
11. 若者の関心喚起を狙ったダンス動画を公開	・・・	P26
12. ユーザー理解活動による取組効果	・・・	P27
13. ユーザー理解活動に要した費用	・・・	P29

1. 2019年度ユーザー理解活動の計画

ユーザーにとって利便性が高く、コスト効率が良い手法を用いて、質の高い情報を提供する。そして、これに電子メディアを活用した取り組みを加えることで新たなターゲットにアプローチを行い、ユーザーを含む国民一人ひとりに質の高い情報を提供する。また、情報の質を高め、効果的に情報が届けられるように、ユーザーの自動車リサイクルの認知状況や関係者のニーズを把握する。

(1) 情報発信の取組み

＜個別施策＞

- ①質を高めた情報発信
- ②全国地域イベントでの情報発信
- ③常設展示ブースを活用した情報発信
- ④自動車リサイクルの現場見学会開催
- ⑤クルマのリサイクル作品コンクール開催
- ⑥運転免許教習生への情報提供

認知向上
理解促進

＜共通施策＞

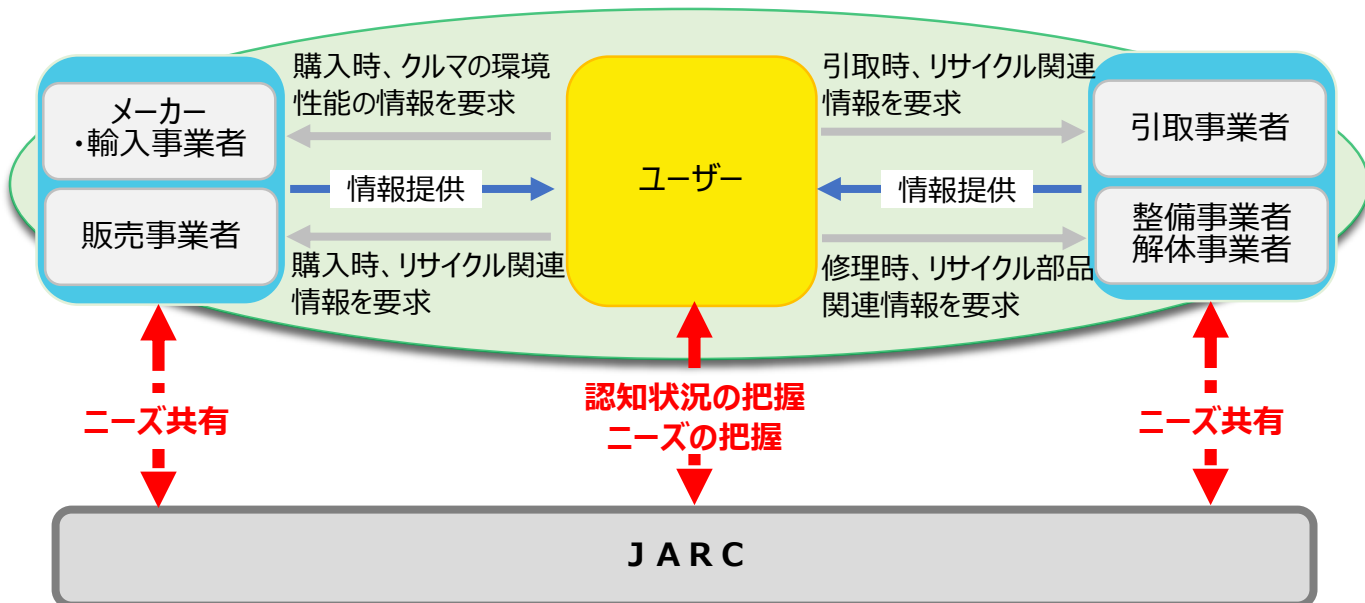
⑦メディアを活用した効果的な取組



メディアミックス*
による情報発信

*メディアミックスとは、個別施策の効果をより高めるために、新聞、テレビ、雑誌、SNSなどのメディアを組み合わせる行う広告活動。

(2) 情報収集の取組み



2. 情報の質を高める取組み

ユーザーの関心事に応じたコンテンツ創りに取り組み、メディアを通じて幅広くユーザーに情報を届ける取組みを行った。

(1) コンタクトセンター開設のタイミングでの情報発信

4/17、沖縄県うるま市で「新 自動車リサイクルコンタクトセンター」のオープニングセレモニーを行い、その情景が“琉球新報”、“沖縄タイムス”に記事化されるなど、地域ユーザーに向けた情報発信に取り組んだ。



(2) データセンター開局のタイミングでの情報発信

5/15、岡山県岡山市で「新 自動車リサイクルデータセンター」の開局セレモニーを行い、その情景が“山陽新聞”、“読売新聞”に記事化されるなど、地域ユーザーに向けた情報発信に取り組んだ。また、“KSB瀬戸内海放送”の夕方ニュースでも取り上げられた。



(提供：KSB瀬戸内海放送)

(3) 毎日フォーラムへの取材記事による情報発信

8/9、毎日フォーラム（発行：毎日新聞社）への取材に対応し、循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルの取組に関する情報発信を行った。（記事は、[こちら](#)）

トップに聞く

車の総合活用が求められる時代に対応

自動車のライフサイクル管理は、環境・社会・経済の観点から、重要な課題の一つである。自動車リサイクルの推進は、資源の有効利用と環境負荷の低減に貢献する。本記事では、自動車リサイクル促進センター（JARC）の阿部知和氏に、自動車リサイクルの現状と今後の展望についてインタビューを行った。

阿部氏：自動車リサイクルの推進は、資源の有効利用と環境負荷の低減に貢献する。本記事では、自動車リサイクル促進センター（JARC）の阿部知和氏に、自動車リサイクルの現状と今後の展望についてインタビューを行った。

阿部知和氏：自動車リサイクルの推進は、資源の有効利用と環境負荷の低減に貢献する。本記事では、自動車リサイクル促進センター（JARC）の阿部知和氏に、自動車リサイクルの現状と今後の展望についてインタビューを行った。

阿部知和 自動車リサイクル促進センター専務理事



阿部知和氏は、自動車リサイクル促進センター（JARC）の専務理事を務める。自動車リサイクルの推進に尽力している。阿部氏は、自動車リサイクルの推進は、資源の有効利用と環境負荷の低減に貢献する。本記事では、自動車リサイクル促進センター（JARC）の阿部知和氏に、自動車リサイクルの現状と今後の展望についてインタビューを行った。

阿部知和氏：自動車リサイクルの推進は、資源の有効利用と環境負荷の低減に貢献する。本記事では、自動車リサイクル促進センター（JARC）の阿部知和氏に、自動車リサイクルの現状と今後の展望についてインタビューを行った。

(4) 日経ESGへの取材記事による情報発信

11/8、日経ESG（発行：日経BP社）への取材に対応し、循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルの取組に関する情報発信を行った。（記事は、[こちら](#)）

自動車リサイクル促進センター



阿部 知和氏
自動車リサイクル促進センター専務理事（COO）

循環型社会への動きを先導

循環型社会の実現に向けて、自動車リサイクル促進センター（JARC）は、資源の有効利用と環境負荷の低減に貢献する。本記事では、自動車リサイクル促進センター（JARC）の阿部知和氏に、自動車リサイクルの現状と今後の展望についてインタビューを行った。

自動車リサイクル促進センター

自動車リサイクルの推進は、資源の有効利用と環境負荷の低減に貢献する。本記事では、自動車リサイクル促進センター（JARC）の阿部知和氏に、自動車リサイクルの現状と今後の展望についてインタビューを行った。

阿部知和氏：自動車リサイクルの推進は、資源の有効利用と環境負荷の低減に貢献する。本記事では、自動車リサイクル促進センター（JARC）の阿部知和氏に、自動車リサイクルの現状と今後の展望についてインタビューを行った。

（提供：日経BP社）

9/5、日経コンピューター（発行：日経BP社）への企画記事を通じて、自動車リサイクル情報システムに関する情報発信を行った。（記事は、[こちら](#)）

ビジネスへの企画記事による情報発信

mobile recycling promotion center / JARC	5
--	---

(7) ウェブサイトを通じて、タイムリーに活動状況を発信



公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

自動車リサイクルの紹介 二輪車リサイクルの紹介 データ・会議資料 本財団について お問い合わせ

第3回「クルマのリサイクル」
作品コンクール
標語・ポスター大募集！
応募締め切り
2020年
2月29日(土)
必着

お知らせ
2020.01.15 更新情報
自動車リサイクル法に基づく運用状況等の実績情報等を更新 (12月度)
2020.01.10 ニュースリリース
くるくるリサイクル ダンス動画を公開
2020.01.08 調査情報
「自動車リサイクルシステム大改造の企画・調査に係る支援業務」に関する入札
2019.12.20 お知らせ
第87回資金管理業務諮問委員会が開催されました (2019年12月20日開催)
2019.12.18 更新情報
自動車リサイクル法に基づく運用状況等の実績情報等を更新 (11月度)

博士の日記
2019.11.22
11月22日、熊本県熊本市にて第4回目(全4回)の自治体向け自動車リサイクル関係者向けステップアップ現場研修を、経済産業省、環境省、(一社)自動車再資源化協力機構とともに行いました。
2019.11.5
11月4日、松江市で開催された「2019松江市環境フェスティバル」に出展しました。松江市環境フェスティバルは、「みんなで創る環境社会」をテーマに、環境に関心の高い市民、NPO、事業者、行政、環境問題について楽しみながら学べる

動画で知る自動車リサイクル
自動車リサイクルシステムホームページ
自動車リサイクルデータBook
「クルマのリサイクル」作品コンクール 標語・ポスター大募集！

“クルマのリサイクル作品コンクール”にあたり、作品募集を案内



11月22日、熊本県熊本市にて第4回目(全4回)の自治体向け自動車リサイクル関連ステップアップ現場研修を、経済産業省、環境省、(一社)自動車再資源化協力機構とともに行いました。研修には、18名の自治体担当者が出席されました。

JARC取組例



11月4日、松江市で開催された「2019松江市環境フェスティバル」に出展しました。松江市環境フェスティバルは、「みんなで創る環境社会」をテーマ… (略)

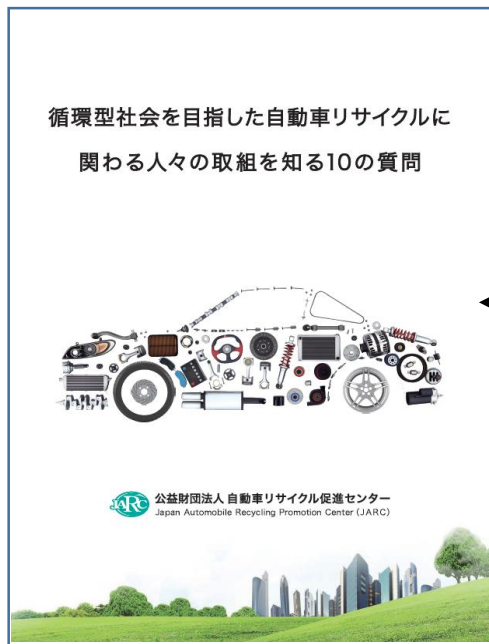


11月7日、岡山県岡山市にて第3回目(全4回)の自治体向け自動車リサイクル関連ステップアップ現場研修を、経済産業省、環境省、(一社)自動車再資源化協力機構とともに行いました。研修には、20名の自治体担当者が出席されました。



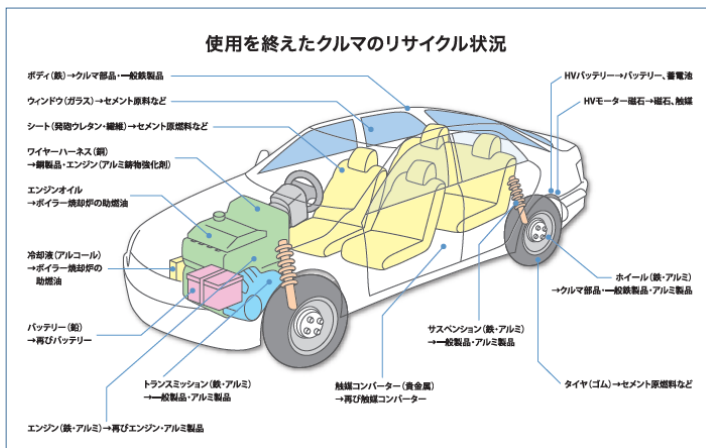
(8) 自動車リサイクルに関する広報冊子を見直し

9/30、18年度実績を反映したユーザー向けの自動車リサイクルに関する広報冊子の見直しを行った。(広報冊子は、[こちら](#))



追加した情報例

使用を終えたクルマの各パーツや素材のリサイクル状況を示す概念図

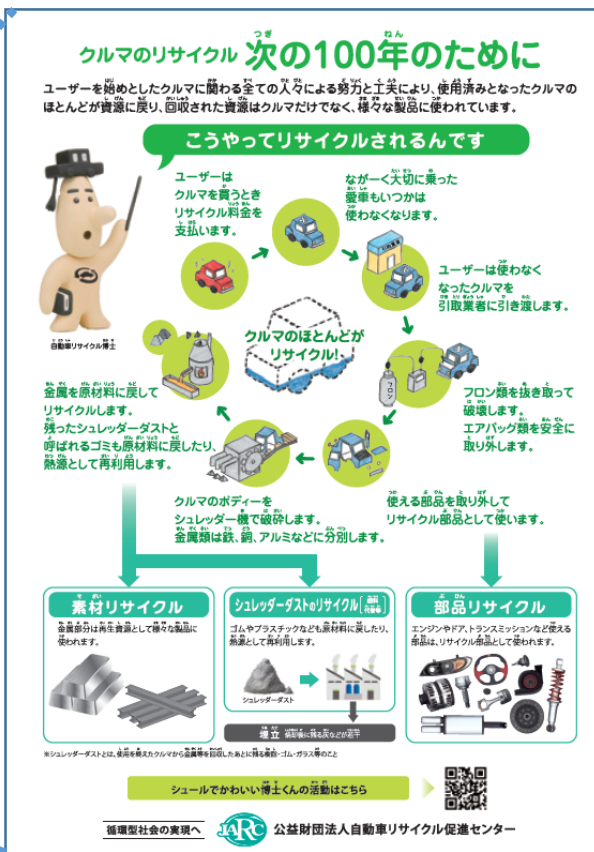


(9) 運転免許学科教本への掲載情報の見直し

ユーザーを対象とした自動車リサイクルに関する認知状況の調査を行った結果、相対的に若年層の認知が低い傾向にある。18歳から25歳の若者が占める運転免許教習生にターゲットを提供しているコンテンツの見直しを行った。



“運転免許学科教本”掲載



3. インターネットメディアでの露出を高める取組み

2019年度では、ニュースリリース配信を**合計28件**行い、インターネットメディアでの自動車リサイクルに関する情報の露出を高める取組みを行った。
結果、インターネットメディアに**1,515件**の記事が掲載された。

(1) リリース情報と広告換算(参考値)

	配信日	リリース情報	掲載数 (件)	広告換算* (万円)
18 件	4月 ～ 9月末	第2回「クルマのリサイクル」作品コンクール受賞者の表彰式を開催 平成31年度事業計画を策定 自治体向け基礎知識研修を5/10から全国9ヶ所で実施 岡山市に「新自動車リサイクルデータセンター」を開局 国内初のCBI認証付きサステナビリティボンドに投資 JICA発行のソーシャルボンドに投資 「自動車リサイクルデータBook 2018」本日公表 住宅金融支援機構発行のグリーンボンドに投資	956	27,166
19	10/18	東京都発行のグリーンボンドに投資 他10件	56	1,533
20	10/24	「環境フェスティバルふくおか2019」に初出展	52	1,500
21	11/1	「2019松江市環境フェスティバル」に出展	52	1,500
22	11/1	第3回「クルマのリサイクル」作品コンクール開催	53	1,503
23	11/7	第1回「岐阜市エコフェスタ」に初出展	53	1,503
24	11/20	「エコライフステージ2019」(北九州市) に初出展	49	1,342
25	11/25	「エコプロ2019」に出展	58	1,728
26	11/29	「京都環境フェスティバル2019」に出展	54	1,595
27	1/10	AKB岩立沙穂さん、黄帝心仙人さん の くるくるリサイクル ダンス動画を公開	80	4,400
28	3/27	第3回「クルマのリサイクル」作品コンクール入賞者決定	52	1,442
合 計			1,515	45,211

*メディアに記事掲載された際の露出効果を、同じ枠を広告として購入した場合の広告費に換算したもの

(2) 掲載メディア例

毎日新聞、朝日新聞、四国新聞、京都新聞、奈良新聞、山形新聞、福井新聞、沖縄タイムスプラス、紀伊民報、千葉日報、宮崎日日新聞、新潟日報、茨城新聞、徳島新聞、福島民友、紀伊民報、山梨日日新聞、河北新報、上毛新聞、秋田魁新報、下野新聞、週刊女性PRIME、AFP BBNews、楽天NEWS、Google ニュース、Impress Watch Headline、excite ニュース、J-CAST ニュース、CNET Japan、他

ニュースリリース（一例）



第2回「クルマのリサイクル」作品コンクール 表彰式



作品コンクール表彰式の状況



データセンター開局セレモニーの状況

公式キャラクターである“自動車リサイクル博士”が、ゆるキャラ®グランプリ実行委員会が主催する「ゆるキャラグランプリ2019」に出場し、関心を高める取組みを行った。人気投票の結果、幅広く応援を受けて**1,734票**（362件中**129位**）を獲得した。

8/1、公式キャラクターである“自動車リサイクル博士”が、ゆるキャラグランプリ2019に出場した。
10/18、投票の結果、出場キャラクター362件中*、129位であった。

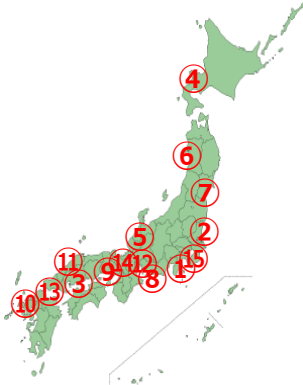
* 企業・その他の部門



4. 全国の環境イベントでの取り組み

全国15か所で開催された環境イベントにキャラバンしながら出展し、循環型社会に向けた自動車リサイクルの取組についての理解活動に取り組んだ。そして、来場者から**合計15,451件**のアンケートを回収した。また、出展に際しては、開催地の自治体と連携し、メディアと情報共有を行いながら理解普及に取り組んだ。

(1) 環境イベントへの出展計画と認知に関するアンケート結果

	開催地	名称	開催月	規模感 (万人)	認知度*		Map
					18年度	19年度	
①	横浜	かながわエコ100フェスタ	5月	14.0	71%	70%	
②	水戸	水戸市環境フェア	6月	1.3	-	68%	
③	広島	「環境の日」広島大会	6月	0.4	-	69%	
④	札幌	環境広場さっぽろ	8月	2.6	68%	69%	
⑤	金沢	いしかわ環境フェア	8月	2.6	68%	67%	
⑥	秋田	あきたエコ&リサイクルフェスティバル	9月	2.0	70%	72%	
⑦	仙台	エコフェスタ仙台	9月	1.0	70%	75%	
⑧	名古屋	環境デーなごや	9月	11.0	74%	80%	
⑨	姫路	ひめじ環境フェスティバル	9月	1.4	-	63%	
⑩	福岡	環境フェスティバルふくおか	10月	4.0	-	65%	
⑪	松江	松江環境フェスティバル	11月	1.0	71%	65%	
⑫	岐阜	岐阜市エコフェスタ	11月	1.0	-	65%	
⑬	北九州	エコライフステージ	11月	15.0	-	66%	
⑭	京都	京都環境フェスティバル	12月	2.8	71%	72%	
⑮	東京	エコポロ	12月	16.0	79%	75%	

*自動車リサイクル制度について、「どんな仕組みか概要を知っている」「名前を聞いたことがある程度」を選択した回答者の割合

(2) 取組状況

① 横浜イベント

- 日程：5/25(土)、26(日)
- 会場：横浜公園(晴れ)
- 来場者：約14万人
- アンケート回収数：1,240件
内自動車リザー：710件(57%)
- 認知状況：70%



② 水戸市イベント

- 日程：6/2(日)
- 会場：千波公園(くもり)
- 来場者：約1.0万人
- アンケート回収数：529件
内自動車1-ガー：437件(83%)
- 認知状況：68%



③ 広島市イベント

- 日程：6/9(日)
- 会場：県庁前広場(晴れ)
- 来場者：約0.4万人
- アンケート回収数：508件
内自動車1-ガー：333件(66%)
- 認知状況：69%



④ 札幌市イベント

- 日程：8/12(日)、13(月)
- 会場：札幌ドーム(くもり)
- 来場者：約2.6万人
- アンケート回収数：1,029件
内自動車1-ガー：763件(74%)
- 認知状況：69%



⑤ 金沢市イベント

- 日程：8/24(土)、25(日)
- 会場：産業展示館(晴れ)
- 来場者：約2.8万人
- アンケート回収数：1,061件
内自動車1-ガー：949件(89%)
- 認知状況：67%



⑥ 秋田市イベント

- 日程：8/31(土)、9/1(日)
- 会場：アオーレ広場(晴れ)
- 来場者：約3.0万人
- アンケート回収数：1,074件
内自動車1-ガー：765件(71%)
- 認知状況：72%



⑦ 仙台市イベント

- 日程：9/1(日)
- 会場：勾当台公園(くもり)
- 来場者：約1.2万人
- アンケート回収数：499件
内自動車1-ガー：338件(68%)
- 認知状況：75%



⑧ 名古屋市イベント

- 日程：9/14(土)
- 会場：久屋大通公園(晴れ)
- 来場者：約14万人
- アンケート回収数：706件
内自動車1-ガー：480件(68%)
- 認知状況：80%



⑨ 姫路市イベント

- 日程：9/28(土)
- 会場：大手前公園(くもり)
- 来場者：約1.2万人
- アンケート回収数：626件
内自動車1-ガー：457件(73%)
- 認知状況：63%



⑩ 福岡市イベント

- 日程：10/26(土)、27(日)
- 会場：ふれあい広場(晴れ)
- 来場者：約4.5万人
- アンケート回収数：1,480件
内自動車1-ガー：942件(64%)
- 認知状況：65%



⑪ 松江市イベント

- 日程：11/4(月・祝)
- 会場：くにびきメッセ(くもり)
- 来場者：約0.8万人
- アンケート回収数：580件
内自動車1-ガー：497件(86%)
- 認知状況：65%



⑫ 岐阜市イベント

- 日程：11/10(日)
- 会場：ぎふメディアコスモス(晴れ)
- 来場者：約0.7人
- アンケート回収数：487件
内自動車1-ガー：376件(77%)
- 認知状況：65%



⑬ 北九州市イベント

- 日程：11/23(土),24(日)
- 会場：リバーウォーク北九州(晴れ)
- 来場者：約15.7万人
- アンケート回収数：1,037件
内自動車1-ガー：689件(66%)
- 認知状況：66%



⑭ 京都市イベント

- 日程：12/7(土),8(日)
- 会場：京都パルスプラザ(くもり)
- 来場者：約2万人
- アンケート回収数：1,079件
内自動車1-ガー：790件(73%)
- 認知状況：72%



⑮ 東京イベント

- 日程：12/5(木),6(金),7(土)
- 会場：東京ビックサイト(くもり)
- 来場者：約15.6万人
- アンケート回収数：3,516件
内自動車1-ガー：2,049件(58%)
- 認知状況：75%

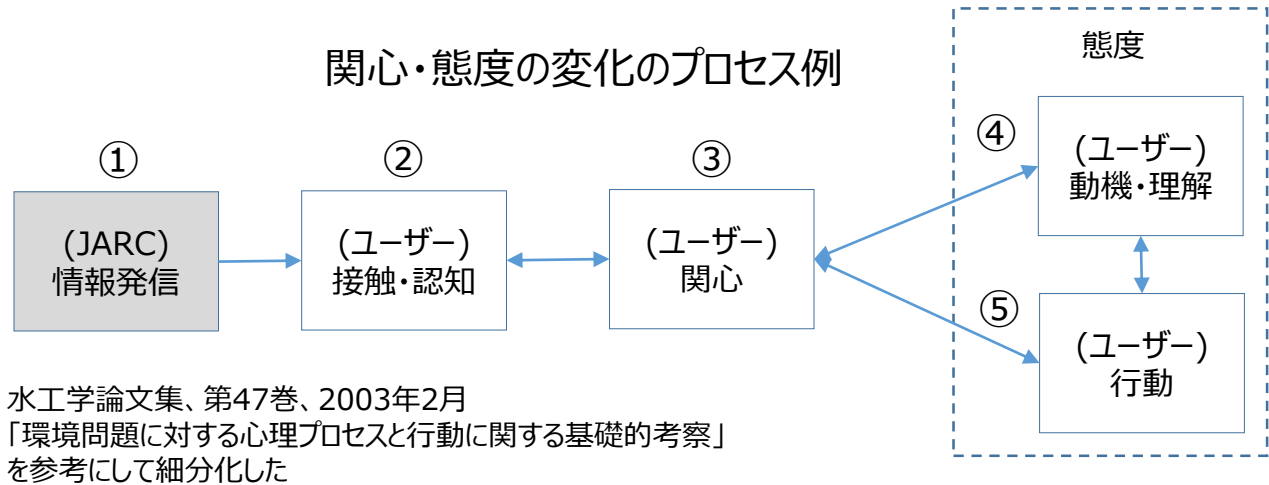


5. 新聞折込チラシを利用した取組み

環境イベントへの出展のタイミングで、その開催地の主要な新聞媒体を使って折込チラシを3か所、合計**110万枚**配布した。
結果、チラシを配布地域からのJARCウェブサイト（4日間）へのアクセス数は**1,592件**（前年同期484件）であった。また、地域イベントに持参した方から回収したチラシの枚数は**186枚**であった。

(1) コンセプト

ユーザーの関心を広げていくために、関心・態度についてのプロセスを細分化し、取組の反響を確認することとした



(2) 実施計画

札幌市、名古屋市、福岡市の3都市で新聞折込チラシを利用した取組を下表のとおり実施し、この取組によるユーザーの関心・態度の変化を確認する。

実施都市	実施日	利用媒体	発信部数	変化プロセスにおける確認項目
札幌市	8/10	北海道新聞	32万部	●新聞折込チラシに気がつく(接触・認知) ●資源循環・環境保全に関心をもつ(関心) ●ウェブサイトを訪問・閲覧する(行動、動機・理解) ●イベントに来場・参加する(行動、動機・理解)
名古屋市	9/14	中日新聞	50万部	
福岡市	10/25	西日本新聞	28万部	

(3) 取組結果

実施都市	配布枚数	アクセス数* (前年同期)	回収枚数
札幌市	32万枚	332件 (82件)	32枚
名古屋市	50万枚	886件 (303件)	88枚
福岡市	28万枚	374件 (99件)	66枚
合 計	100万枚	1,592件 (484件)	186枚

* 配布地域からのJARCウェブサイトへのアクセス数 (配布日から4日間の計測値)

札幌市で配布したチラシ



表



裏

名古屋市で配布したチラシ



表



裏

福岡市で配布したチラシ



表



裏



6. PR動画を使った関心を得る取組み

“映像”と“音”によるわかり易いメッセージの配信を通じて、ユーザーを含む国民一人ひとりの関心を得る取組みを行った。地上デジタル放送でPR動画を**2,056回**配信した結果、**延べ9,313万世帯**の視聴者に情報を届ける取組みを行った。また、BSデジタル放送でPR動画を**271回**配信した結果、**延べ1億5千万世帯**の視聴者に情報を届ける取組みを行った。

(1) 地上デジタル放送 環境イベントへの出展のタイミングでPR動画を配信した。

ブロック	対象世帯数 (単位：万世帯)	配信局数	配信期間	延べ視聴世帯数 (単位：万世帯)
北海道	277	2局	7/17-8/13	870
東北	373	6局	8/5-9/1	1,102
関東	-	-	-	未実施
北陸	302	5局	7/29-8/25	816
中部	673	3局	8/18-9/14	2,245
近畿	960	2局	9/1-9/28	2,108
中国・四国	512	7局	5/26-6/9	995
九州・沖縄	665	8局	9/30-10/27	1,177
合 計	3,762	33局	182日間	9,313

* ブロック ⇒ 地上デジタル放送の配信エリア毎にPR動画の配信地域を編成

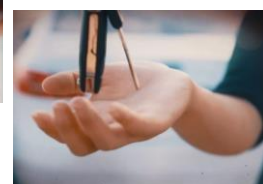
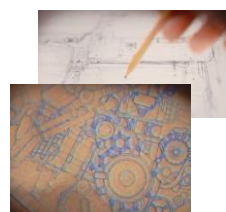
* 対象世帯数 ⇒ 2018年度日本国世帯数（総務省）5,801万世帯から関東ブロックの世帯数を除いた

(2) BSデジタル放送 日時を固定し、特定の番組の視聴者層に向けてPR動画を配信した。

ブロック	対象世帯数 (単位：万世帯)	配信局数、番組名 (チャンネル、番組時間)	配信期間	延べ視聴世帯数 (単位：万世帯)
全国	4,287	1局、BS7ch LIVEプライムニュース (BS7ch、平日20時から)	4～9月	10,876
		1局、日経プラス10 (BSテレビ東京、平日22時から)	10～3月	4,178
合 計	4,287	2局	262日間	15,054

* 2019年度 BS視聴可能世帯数（ビデオリサーチ）：4,286.8万世帯

<配信30秒動画>



7. 小学生とその保護者を対象とした取組み

日本自動車工業会を始めとした自動車リサイクルの関係者の協力を得て、小学生とその保護者を対象とした現場見学会を**4回**催し、その情景を小学生新聞などの媒体を使い**約125万部**の読者に情報発信を行った。また、現場見学会の情景を編さんした壁新聞を全国小学校や全国教育委員会など**約3万カ所**に配付することで学校教育に役立つ情報提供の取組みを行った。

(1) 背景

多くの小学校では、日本の工業生産と関連して、国民生活を支える自動車産業に関わる人々の工夫や努力の取組の一つとして、自動車リサイクルが授業の中で取り上げられている。

JARCは、多くの子ども達が、循環型社会に向けた自動車リサイクルの取組を正しく理解し、興味を持ってもらい、日本の産業や環境保全などに現状や将来について考えるための基礎情報を提供していくこととしている。

(2) 見学会実施計画

見学月	内容	協力団体	掲載月
6月	解体事業者の取組	日本自動車リサイクル機構	9月
7月	破砕事業者の取組	日本自動車工業会、ASRチーム(TH,ART)	
8月	販売事業者(引取業者)の取組	日本自動車販売協会連合会	10月
8月	自動車メーカーの取組	日本自動車工業会	

(3) 現場見学会の様子

1) 6月22日(土)、(株)オートパーツ伊地知 様(鹿児島県鹿児島市)の協力を得て、解体事業者の取組みの見学会を開催した。



2) 7月26日(土)、金城産業(株)様(愛媛県松山市)の協力を得て、破砕事業者の取組みの見学会を開催した。



3) 8月23日(土)、トヨタ自動車(株)堤工場様(愛知県豊田市)の協力を得て、自動車製造業者の取組みの見学会を開催した。



4) 8月26日(土)、愛媛日産自動車(株)宮西店様(愛媛県松山市)の協力を得て、自動車販売事業者の取組みの見学会を開催した。



(4) 掲載記事

1) 9月12日掲載、解体事業者、破碎事業者 の取組み



拡大版: <https://www.jarc.or.jp/news/5859/>

2) 10月10日掲載、販売事業者、製造事業者 の取組み



拡大版: <https://www.jarc.or.jp/news/5958/>

3) 10月24日掲載、自動車リサイクル 総集編



拡大版: <https://www.jarc.or.jp/news/6004/>

8. クルマのリサイクル作品コンクールを開催

小学生自らが自動車リサイクルの学びを通じて、自動車の産業や環境保全に向けた取組の現状や将来を考え、理解が深められるように、全国小学生を対象とした第3回クルマのリサイクル作品コンクールを開催し、クルマのリサイクルに関する作品の募集を行った。その結果、全国から**6,779件**の作品の応募を受け、自動車リサイクルの関係者の協力を得て入賞作品を選定した。そして、入賞結果を全国紙（約800万部）を使い周知を行った。

※表彰式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために延期。

(1) 開催概要

- 主 催：自動車リサイクル促進センター（JARC）
 - 後 援：経済産業省、環境省、
全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、
日本自動車工業会、日本自動車販売協会連合会、
日本自動車リサイクル機構、日本放送協会(NHK)、
読売新聞社/読売KoDoMo新聞
 - 部 門：①標語の部、②ポスターの部
 - 応募期間：2019年11月1日～2020年2月29日必着
 - 賞：個人賞、団体賞、参加賞
- (*)作品コンクールの詳細は次のURLを参照

<https://www.jarc.or.jp/contest2019/>

(2) 入賞結果

【最優秀賞】



太田 ここみ（おた ここみ）さん
北海道函館市立大森浜小学校 6年生

ギアチェンジ！
未来につなげ
リサイクル

鈴木 杏佳（すずき きょうか）さん
千葉県富津市立吉野小学校6年生



【小学生新聞賞】

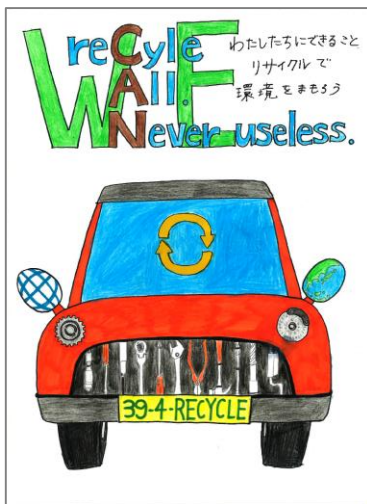


太田 陽莉（おおた ひらり）さん
鳥取県大山町立名和小学校5年生

乗り終えて
ゴミか資源か
どっち行く？

工藤 成葵（くどう なるき）さん
青森県弘前市立松原小学校5年生

【審査員特別賞】



前田 美音（まえだ みおん）さん
東京都世田谷区立玉川小学校5年生



太田 明希（おおた あき）さん
静岡県三島市立北小学校5年生



山崎 愛美（やまざき まなみ）さん
愛知県豊田市立前山小学校5年生

愛車への
最後の声かけ
また会おう

橋本 友來理（はしもと ゆらり）さん
栃木県上三川町立明治小学校5年生

リサイクル
廃車に続く
ものがたり

伊藤 眞悠（いとう まゆ）さん
東京都新宿区立東戸山小学校5年生

車たち
こんどはなにに
なるのかな

大形 朝穂（おおがた あさほ）さん
愛知県名古屋市長富士見台小学校1年生

【入賞】 ポスターの部 (22名)

石井 凜花子(いしりかこ)
工藤 成葵(こう なるき)
田口 悠真(たぐち ゆうま)
佐藤 知尋(さとう ちひろ)
佐藤 海心(さとう みこ)
柴山 杏(しばやま あん)
石関 未千花(いしげき みちか)
大塚 菜緒(おおつか なお)
瀬戸 暖土(せと はると)
安井 歩(やすい あゆみ)
岩村 柑那(いわむら かな)
成瀬 乃彩(なるせ のあ)
和泉 佳歩(いずみ かほ)
若山 怜穂(わかやま れおん)
細川 詩乃(ほそかわ しの)
荒松 あんじ(あらまつ あんじ)
澤村 咲嬉(さわむら さき)
麻生 こなつ(あそう こなつ)
伊藤 翔海(いとう しょうま)
金 晟佑(きむ そんう)
太 嵩翔(て すんさん)
西元 南行(にしもと ないき)

北海道 別海町立上春別小学校 5年生
青森県 弘前市立松原小学校 5年生
青森県 弘前市立松原小学校 5年生
福島県 会津坂下町立坂下南小学校 5年生
福島県 川俣町立川俣南小学校 5年生
群馬県 高崎市立箕輪小学校 4年生
東京都 昭島市立共成小学校 6年生
東京都 西東京市立向台小学校 5年生
神奈川県 小田原市立千代小学校 5年生
神奈川県 小田原市立千代小学校 5年生
岐阜県 中津川市立南小学校 5年生
岐阜県 中津川市立南小学校 5年生
静岡県 三島市立北小学校 5年生
大阪府 島本町立第二小学校 2年生
奈良県 桜井市立城島小学校 3年生
鳥取県 大山町立名和小学校 5年生
高知県 南国市立久礼田小学校 5年生
福岡県 大野城市立下大利小学校 5年生
福岡県 大野城市立下大利小学校 5年生
福岡県 北九州朝鮮初級学校 5年生
福岡県 北九州朝鮮初級学校 3年生
鹿児島県 指宿市立利永小学校 5年生

【入賞】 標語の部 (25名)

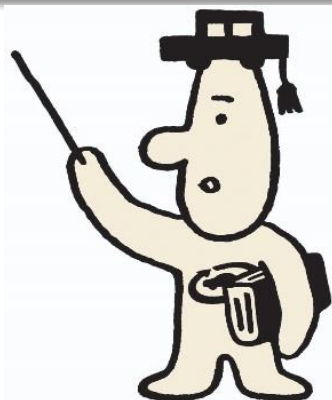
後藤 穂乃花(ごとう ほのか)
砂原 芽育(すなはら めい)
長 和壯(おさ かずまさ)
平 果南子(たいら かなこ)
宮野 優里(みやの ゆうり)
浅野 創太(あさの そうた)
加藤 裕音(かとう ひろね)
桑原 美桜(くわはら みお)
安田 大地(やすた だいち)
大越 夏月(おおこし なつき)
久保 創(くぼ はじめ)
小林 寛太(こばやし かんた)
高橋 大晴(たかはし たいせい)
石垣 柚音(いしがき ゆずと)
中村 駿(なかむら しゅん)
奥野 司(おくの つかさ)
岩下 鈴(いわした りん)
武田 奈々(たけだ なな)
圓戸 結衣(えんど ゆい)
小島 康生(こじま こうせい)
坂井 涼(さかい すず)
田口 雅剛(たぐち まさたか)
徳永 理人(とくなが りひと)
野口 四季(のぐち しき)
一ノ瀬 愛弓(いちのせ あゆみ)
後藤 穂乃花(ごとう ほのか)
砂原 芽育(すなはら めい)
長 和壯(おさ かずまさ)

宮城県 石巻市立蛇田小学校 6年生
宮城県 石巻市立蛇田小学校 6年生
山形県 米沢市立北部小学校 5年生
山形県 米沢市立北部小学校 5年生
埼玉県 新座市立東北小学校 5年生
千葉県 野田市立北部小学校 5年生
千葉県 習志野市立大久保小学校 5年生
千葉県 千葉市立あすみが丘小学校 5年生
千葉県 千葉市立あすみが丘小学校 5年生
東京都 足立区立栗原小学校 5年生
神奈川県 横浜市中沢小学校 3年生
長野県 富士見町立本郷小学校 4年生
岐阜県 岐阜市立本荘小学校 6年生
静岡県 静岡市立井宮北小学校 5年生
静岡県 御前崎市立第一小学校 5年生
大阪府 大阪市立東都島小学校 2年生
兵庫県 神戸市立唐櫃小学校 5年生
兵庫県 宝塚市立宝塚小学校 4年生
和歌山県 那智勝浦町立下里小学校 5年生
広島県 東広島市立郷田小学校 4年生
福岡県 大野城市立下大利小学校 5年生
福岡県 北九州市立守恒小学校 5年生
福岡県 大牟田市立大牟田中央小学校 5年生
福岡県 大野城市立大野北小学校 5年生
佐賀県 武雄市立御船が丘小学校 5年生
宮城県 石巻市立蛇田小学校 6年生
宮城県 石巻市立蛇田小学校 6年生
山形県 米沢市立北部小学校 5年生

【団体賞】
(10校)

神奈川県 平塚市立金田小学校
山形県 米沢市立北部小学校
東京都 西東京市立向台小学校
静岡県 三島市立北小学校
広島県 東広島市立郷田小学校
福岡県 北九州市立守恒小学校
大阪府 藤井寺市立藤井寺小学校
静岡県 御前崎市立第一小学校
千葉県 松戸市立馬橋小学校
兵庫県 尼崎市立園田南小学校

＜審査会の様子＞



9. 子どもメッセージカー返還式を開催

2020年1月17日、「エコプロ2019」の体験学習の場で子どもたちの思いが綴られた「メッセージカー」の返還式を行った。そして、当該式典で得られたコンテンツを利用して、ユーザーの関心を得るための情報発信を行った。

(1) 開催概要

日時：2020年1月17日（金）15時

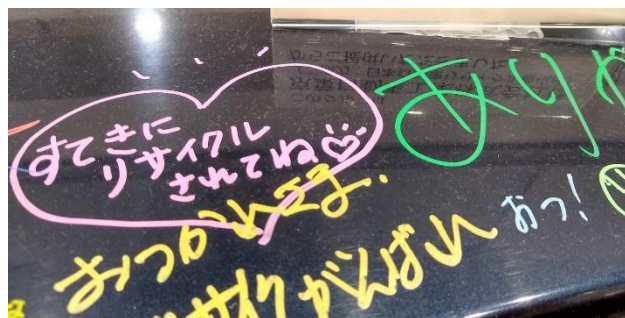
場所：京葉自動車工業株式会社更科工場（千葉市若葉区）

趣旨：メッセージカーには、将来の地球環境、資源循環、リサイクルの大切さをつづった内容や、これまで一生懸命に頑張ってきたクルマへの感謝の気持ちなど、全てのメッセージに子どもたちの思いが詰まったメッセージが綴られている。
当該式典は、お借りした自動車を京葉自動車工業株式会社に返還するとともに、子どもたちから頂いた大切なメッセージを届けるイベントである。

(2) 式典状況



1,500を超えるメッセージ



式典には、JARC専務理事の阿部知和、そして京葉自動車工業株式会社代表取締役社長の酒井康雄様、取締役副社長の酒井悠介様、取締役専務の酒井徹也様にご列席いただいた。

10. 科学技術館に常設展示ブースを制作

2020年3月、“科学技術館（東京都千代田区）”に、自動車リサイクルに関する常設展示ブースを制作した。本件は、大阪市に開設した常設展示ブースに続く2例目の施策であり、主要都市に設える環境施設を活用して、来場者である小学生を始めとした青少年に対する体験型のアプローチにより、その保護者や兄弟姉妹、そして友達などの周囲に情報を繋げ、循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルへの理解促進を進めることとしている。

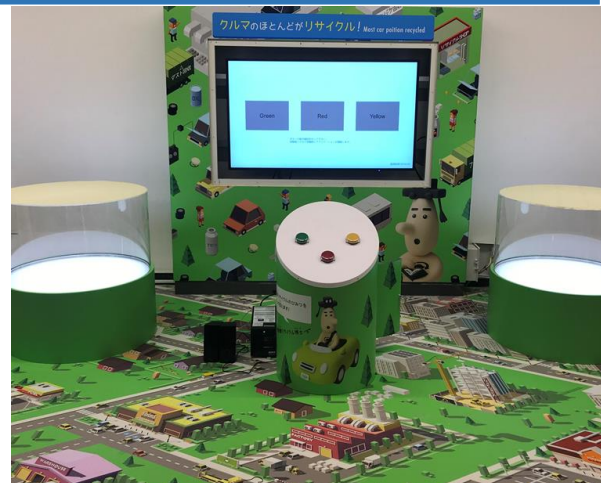
※新型コロナウイルス感染拡大の収束後の開設に向け準備を行った。

（1）科学技術館の概要

主 催：公益財団法人日本科学技術振興財団
所在地：東京都千代田区北の丸公園2番1号
営業時間：9：30-16：50（水曜日不定休）
来場者数：533千人（2018年度実績）

（2）展示物の内容

- 1) 設置場所：科学技術館 4F
- 2) 展示内容：自動車リサイクルの基本的な流れから、次の内容を知る
 - ・廃車が再利用可能な部品や金属等の資源の塊であること
 - ・リサイクル処理に多くの方々が関わっていること
 - ・再生資源や素材から生まれた製品



<リサイクルの流れを紹介したコンテンツ>



<クイズ>



1 1. 若者の関心喚起を狙ったダンス動画を公開

2020年1月、新たに自動車リサイクルに関するダンス動画を制作。これを全国運転免許教習所などで配信し、若年の自動車リサイクルについての関心を得る取り組みを行った。これを1月から3月までの期間、ダンス映像への想定接触回数は**延べ630万回**（約20万人相当）であった。

（1）目的

2012年、義務教育化され、若者に圧倒的な人気を誇るダンスを使って、自動車リサイクルへの関心喚起を目的とする。

（2）対象

運転免許教習所に通う若者

＊運転免許教習所、JARCの公式Youtubeなどで動画配信中

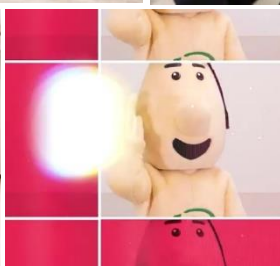
（3）訴求点

・循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルの取り組み 等

（4）制作動画

ダンス動画を見るだけで **自動車リサイクル** が丸分かり！

自動車リサイクル博士 が **ダンサー** 達と **くるくる** ダンスを踊る！



<https://www.jarc.or.jp/trend/6283/>

AKB48 岩立沙穂さん

12. ユーザー理解活動による取組効果

「自動車リサイクル」についてのメディア媒体への露出状況、及び発信した情報へ接触数を調査会社の協力を得て調査を行い、これを試算した。
結果、**合計5,960件**の実施が確認できた。そして延べ換算の想定値ではあるが、**約9億6,823万リーチ**の接触数を確認した。

(昨年度は、延べ2,872件の露出、延べ換算想定約3億3,344万リーチ)

※リーチ数とは、情報に接触した人数を、延べ数で現したもの。

ユーザーの関心・態度に応じた情報展開図

<関心・態度>

<主要な取組み>

自動車ユーザー

自動車リサイクルに対する
関心が高く・態度も確定的

自動車リサイクルに対する
関心は高いが、態度は未確定

自動車リサイクルに対する
関心が低い

小学生・保護者など

学習の促進

- リサイクル現場見学会
- 小学生新聞等に掲載
- コンクールの開催 等



事実の伝達（ファクト訴求）

- ウェブページの拡充
- 新聞・雑誌等に掲載
- データBookの展開
- 広報冊子の展開 等



理解の促進（ロジック訴求）

- 地域イベント出展
- 常設ブース設置
- 新聞折込チラシの展開 等



関心の喚起

- ニュースリリースの配信
- 一般向けPR映像の配信
- 運転免許教習本への掲載
- 若者向けPR映像の配信



＜自動車リサイクル関連情報への接触状況（概算）＞

- データベース（日経テレコン・meilwater）等の情報をもとに調査。
- 調査手法は、調査会社の独自のもの。
- 調査対象期間：2019年4月1日～2020年2月29日。
- リーチ数は、約9億6,823万リーチである。

媒体	関連する主要な施策	実施数	リーチ数
テレビ番組	・環境イベント出展	1	約15万
新聞・雑誌記事	・ニュースリリース配信 ・環境イベント出展 ・小学生とその保護者を対象とした取組	374	約13,568万
Web記事	・ニュースリリース配信 ・環境イベント出展 ・小学生とその保護者を対象とした取組	1,935	約8,200万
テレビCM(広告)	・CM配信	2,327	約72,283万
新聞広告 折込チラシ	・札幌、名古屋、福岡	3	約135万
小学生新聞	・小学生新聞	4	約1,982万
リアル	・地域イベント ・常設展示施設（おおさかATC） ・自動車教習所	1316	約642万
合 計		5,960	約96,823万

※リーチ数とは、情報に接触した人数を、延べ数で現したもの。

各メディアの接触者の延べ人数を、発行部数や視聴率から推量し、日別、媒体別で算出。

※表中の数値は、確認できる範囲で調べた結果である。

＜リーチ数の算出方法＞



- テレビ番組、テレビCM：番組世帯視聴率 × 視聴可能世帯数 × 世帯内平均人数 =リーチ数として算出。



- 新聞記事：発行部数 × 世帯内平均回読人数 × 新聞閲読率 =リーチ数として算出。



- 雑誌記事：発行部数 =リーチ数として算出。



- Web記事：ユニークユーザー数 = 情報接触人数として考え、日別に算出。

- リアル：アンケート回収数・想定来場者数・想定接触者数を使用。

13. ユーザー理解活動に要した費用

2019年度におけるユーザー理解活動に要した費用の決算額は、28,089万円。予算執行率は107.2%であった。予算と実績の差1,889万円の要因は、主として新型コロナウイルスの影響により延期とした「クルマのリサイクル作品コンクール」表彰式の代わりに、全国紙を使って入賞結果の周知を行ったことによるものである。なお、この理解活動費は、特預金と繰越金から負担される。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

(単位：万円)

#	取組の方向性	施策例	年度 計画額 ①	年度 決算額 ②	執行率 ②/①
1	全国万遍なく、環境関連イベントに出展し、自動車リサイクルの取組・成果の認知向上の機会を創出する	● 全国環境イベントでの情報提供の取組 ● 新聞折込チラシの展開	3,200	2,364	73.9%
2	若年層に向けた情報発信を強化する	● 小学生とその保護者を対象とした取組 ● 自治体と連携した情報拡散の取組 ● 運転免許教習生に対する取組	6,100	5,888	96.5%
3	各種メディアを活用して露出を高める取組を行う	● メディアミックスによる効果的な取組	13,000	16,983	130.6%
		● ニュースリリースの積極的配信 ● その他のパブリシティ活動	0	0	-
4	身近なところから、ユーザー視点で分かりやすい情報へと改善を行う	● ウェブページを活用した情報発信と改善 ● 広報ツールの制作（チラシ・ポスター等） ● 常設展示物の制作	2,770	2,250	81.2%
5	自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握する	● ユーザーの認知状況の把握 ● 各種ユーザーニーズの把握	330	76	23.1%
6	広報・PRの専門家を助言や支援を受けながら、質の高い情報を、効果的に発信する	● 効果的な取組の実務支援 ● リスク低減の観点での支援 ● 情報発信の効果検証 他	800	528	66.0%
合 計			26,200	28,089	107.2%

*合計額には、人件費・管理費等を含まない

主要な施策とその実績（まとめ）

●全国環境イベントでの情報提供の取組み

・札幌・秋田・仙台・水戸・東京・横浜・岐阜・金沢・名古屋・京都・姫路・松江・広島・北九州・福岡で開催（全国15ヶ所）された各種イベントに出展。

●新聞折込チラシの展開

・環境イベントが開催された札幌市、名古屋市、福岡市の3カ所で合計110万枚のチラシを展開。

●小学生の学校教育と連動した取組み

・小学生とその保護者を対象とした4回の現場見学会を開催し、その情景を小学生新聞を始めとした各種メディアに3回展開（約125万部展開）。また、全国小学校、教育委員会などに述べ3万ヶ所に展開。

・クルマのリサイクル作品コンクールを開催し、全国から6,779件の作品の応募を受け、自動車リサイクルの関係者の協力を得ながら厳正に選定した入賞作品について表彰式を実施。

●運転免許教習生に対する取組み

・運転免許教習生に向けて、リサイクル料金の支払やその用途など、ユーザーの自動車リサイクルへの関り方を運転免許学科教本（約79万部）に掲載するなど、若年層の認知を高める取組みを実施。

・若年層の関心喚起を図るために新たに自動車リサイクルに関するダンス動画を制作し、これを1月から3月にかけて全国自動車教習所250カ所で配信。

●メディアミックスによる効果的な取組み

・各種イベントへの出展のタイミングで“映像”と“音”によるわかり易い広報映像を地上デジタルで2,056回、BSデジタル放送で271回配信。

・ユーザーの関心事に応じたコンテンツを制作し、日経ビジネス約9万部、日経コンピューター約2万部などの定期行物で展開。

・新型コロナウィルスの影響により延期した「クルマのリサイクル作品コンクール」表彰式の代わりに、全国紙約800万部を使って入賞結果を周知。

●ニュースリリースの積極的配信

・効果的な広報活動の一環としてのニュースリリースを合計28回配信し、当該情報がインターネットメディアに1,515件掲載されるなど、露出を高める取組を実施。

●その他のパブリシティ活動

・公式キャラクターである“自動車リサイクル博士”を更に活用するべく、“ゆるキャラクランプリ”に出場し、自動車リサイクルの認知を高める取組みを行った。この取組みにおいては、自動車リサイクルの関係者の協力を得て、1,734票の投票を獲得。

●ウェブページを活用した情報発信と改善

・広報映像やリサイクル博士のキャラクターなど活用し、タイムリーな情報を発信。

●広報ツールの制作（チラシ・ポスター等）

・ユーザー向けに自動車リサイクルの概要をまとめた広報ツールを制作し、これを展開。

●常設展示物の制作

・“科学技術館（東京都千代田区、来場者年約50万人）”に、常設展示ブースを制作。来場者である小学生を始めとした青少年に対する体験型アプローチを狙った展示物を制作。

●各種ユーザーニーズの把握

・出展した各種イベントで来場者から得た15,451件のアンケート回答から、分かりやすい広報コンテンツへと改善していくためのニーズを把握。

・クルマのリサイクル作品コンクールに参加した小学校から得た101件のアンケート回答から、当該作品コンクールを改善していくための様々なニーズを把握。

●情報発信の効果検証

・テレビ・新聞・雑誌やインターネットメディアでの「自動車リサイクル」に関する露出状況を調べた結果、5,960件の実施が確認され、情報に接触した人数は延べ約9億6,823万リーチであることを確認。

<https://www.jarc.or.jp/>